

通信：

○2月29日、4年に一度の29日は目覚めから予報通り雪（深夜午前3時前から）でした。水分を多く含んだ重い雪で山間部で積もると枝が落ちたり、木が倒れたりしますし、残雪があると気温が上がらず飛散が抑えられる可能性が考えられます。今後の情報に注意して下さい。はなこさんやとうきょう花粉ネットでは一部雪を観測していますが雪センサーをつけた機器では観測していないようです。当院屋上の自動計測は午前1～2時に少数の花粉を観測していましたが、同所の落下法の観測では0個/cm²でした。首都圏の各地から数々の混乱のニュースが届いています、雪に対する備えの弱さが目立ちました。

○測定年別の2月の飛散数です。

測定年	スギ	ヒノキ	その他
平成6年	10.2	0.0	
平成7年	126.8	5.2	
平成8年	89.3	0.0	8.2
平成9年	204.3	0.0	12.0
平成10年	196.5	0.3	11.2
平成11年	93.5	0.0	3.6
平成12年	152.5	0.0	18.1
平成13年	265.2	0.0	33.3
平成14年	1391.4	1.5	37.1
平成15年	836.0	2.4	13.7
平成16年	116.2	0.0	20.9
平成17年	78.8	0.0	16.4
平成18年	288.5	0.6	22.0
平成19年	707.5	0.9	33.7
平成20年	94.7	0.0	16.4
平成21年	2025.5	7.4	40.4
平成22年	199.9	0.0	13.2
平成23年	1404.7	0.0	25.5
平成24年(28日まで)	15.8	0.0	13.7

平成6年に次いで2番目に飛散の少ない2月でした。必ずしもシーズン総数と比例していません。

○2月29日、東京都の耳鼻科医の花粉症のページの2月のアクセス数は、平成17年12.4万件、18年9.1万件、19年9.8万件、20年6.9万件、21年は約4万件で、22年も約4万件で、昨年は4.8万件でした。昨年は多くの飛散が予想されていた事もあり、増加傾向にありました。しかし、今年は飛散開始が大幅に遅れたこともあって、3.6万件と再び減少しました。とはいえ、平成21年からは4万件前後で固定した観があります。